

F-6

キルギス語における「素早さ・突然性」を表す補助動詞*

アクマタリエワ ジャクシルク

(日本学術振興会特別研究員／新潟大学)

【要旨】キルギス語には「素早さ・突然性」を表す補助動詞が先行の主動詞が-A/-y 副動詞形で現れるもの (*koy-*「置く」、*kal-*「残る」、*sal-*「入れる」、*tüš-*「下りる」など) と、先行の主動詞が-I(p) 副動詞形で現れるもの (*jiber-/iy-*「送る」、*ket-*「去る」) がある。従来の研究では、これらの補助動詞が動作の「素早さ・突然性」を表すことが指摘されているが、「素早さ・突然性」を表す複数の補助動詞の意味用法における類似点や相違点が明瞭に記述されているとは言えない。本発表ではこれらの補助動詞の類似点・相違点を文法的な条件(主動詞の種類、動作の意志性、述語の形式など)によって整理できると主張する。

1. はじめに

キルギス語には「素早さ・突然性」の意味を表す補助動詞として、先行の主動詞が-A/-y 副動詞形で現れるもの (*koy-*「置く」¹、*kal-*「残る」、*sal-*「入れる」、*tüš-*「下りる」など) と、先行の主動詞が-I(p) 副動詞形で現れるもの (*jiber-/iy-*「送る」、*ket-*「去る」) がある。従来の研究では個々の補助動詞の意味用法は指摘されているものの、その類似点・相違点は明確ではない。

2. 先行研究／問題提起

本節では、Kudaybergenov (1987)、Ohsaki&Ebata (2021) を紹介し、本発表の問題提起を行いたい。

2.1. Kudaybergenov (1987)

Kudaybergenov (1987: 221-231) は、先行の主動詞が-A/-y 副動詞形で現れる補助動詞 *koy-*「置く」は мгновенность「即座性」、*kal-*「残る」は неожиданность моментальность действия「動作の突然性・瞬間性」、*sal-*「入れる」は мгновенность и неожиданность действия「動作の即座性と突然性」、*tüš-*「下りる」は интенсивность действия「動作の強度」を表すと記述している。以下に例文(1~4)を提示する。

(1) *Saltanat bayka-p, külkü-sü-n toktot-o koy-du.*²

PSN 気づく-CVB 笑い-POSS.3-ACC 止める-CVB 置く-PST.3

「(中略)サルタナトは気づいて、笑いを(すぐに)止めた。」

(2) *It-i akirin gana ün-ü-n čigar-dī, lip jat-a kal-dī.*

犬-POSS.3 静かに だけ 声-POSS.3-ACC 出す-PST.3 サッと 横たわる-CVB 残る-PST.3

「犬が静かにだけ声を出して、サッと(すぐに)横になった。」

* 本研究は科研費(研究課題 18H03578、21J40129、21H04346)及び東京外国語大学 AA 研の共同研究課題「チュルク諸語における情報構造と知識管理—音韻・形態統語・意味のインターフェイサー」による成果の一部である。本発表の内容は、2021 年度 AA 研共同利用・共同研究課題「チュルク諸語における情報構造と知識管理—音韻・形態統語・意味のインターフェイサー」第3回研究会(2022年2月19日、オンライン開催)、2021 年度ユーラシア言語研究コンソーシアム年次総会(2022年3月29日、京都大学羽田記念館)における発表内容に大幅な加筆、修正を加え発展させたものである。コメントをくださったすべての方々、および言語コンサルタントの方々に感謝申し上げます。

¹ 「」内には本動詞としての語彙的な意味を表す。また、類義の動詞をスラッシュによりまとめて示す。

² 略号: ABL 奪格 / ACC 対格 / CVB 副動詞形 / CAUS 使役 / COND 条件 / DAT 与格 / GEN 属格 / IMP 命令 / MOD モダリティ / NEG 否定 / PART 助詞 / POSS 所有 / PRES 現在 / PSN 人名 / PST 過去 / PTCP 形動詞 / 3 三人称

(3) *Al ters kayri-p koy-gon kurka-ni daroo kalib-i-na kel-tir-e sal-di da...*
 彼 逆 曲げる-CVB 置く-PTCP コック-ACC 直ちに 元-POSS.3-DAT 来る-CAUS-CVB 入れる-PST.3
 「彼は逆さまにして置いたコックを直ちに元通りに (すぐに) 戻して...」

(4) *Gulayim-din jüz-ü jark ět-e tüš-tü.*
 PSN-GEN 顔-POSS.3 ぱあっと なる-CVB 下りる-PST.3
 「グライムの顔が (突然/すぐに) ぱあっと明るくなった。」 Kundaybergenov (1987: 226-230)

続いて先行の主動詞が-I(p) 副動詞形で現れる補助動詞 *jiber-iy-*「送る」は быстроты, решительности, завершенности действия「動作の素早さ、決意、完了」、*ket-*「去る」³は завершенность действия с оттенком неожиданности и быстроты результата「動作の完了が突然性や結果の素早さを伴うこと」を表すとしている (Kundaybergenov 1987: 227, 229)。以下に例文 (5~6) を提示する。

(5) *Mugalim ayt-kan-day, karool-u-n tegizde-p tur-up tars ět-tir-e at-ip jiber-di.*
 教師 言う-PTCP-MOD 眼-POSS.3-ACC 整える-CVB 立つ-CVB ぱあんと-CAUS-CVB 撃つ-CVB 送る-PST.3
 「教師が言ったように、(銃の) 眼を整えてから、ぱあんと (すぐに) 撃った。」

(6) *Al ěmnedir bezĉek bol-gon kiši-ĉe kalĉilda-p ket-ti.*
 彼 なぜか マラリア なる-PTCP 人-MOD 震える-CVB 去る PST.3
 「彼はなぜかマラリアになった人のように (突然/すぐに) 震えた。」 Kundaybergenov (1987: 227, 229)

2.2. Ohsaki&Ebata (2021)

Ohsaki&Ebata (2021: 449-454) の付録資料において、本発表の考察対象である補助動詞が取り上げられており、各補助動詞の意味が簡潔に提示されているので、合わせて以下に記しておく。

[表 1] Ohsaki&Ebata (2021: 449-454) の付録資料から⁴

【-A/-y 副動詞形に続く補助動詞】	【-I(p) 副動詞形に続く補助動詞】
(1) <i>At-ti al-a koy-du.</i> <u>quick and completed action</u> 'He took the horse quickly.'	(5) <i>Suu-nu iĉ-ip jiber-di</i> <u>sudden or quick, and completed action</u> 'He drank the water quickly.'
(2) <i>It-i jat-a kal-di.</i> <u>sudden or quick action or change</u> 'His dog lay down quickly.'	(6) <i>Biz kiykir-ip iy-di-k.</i> <u>sudden or quick, and completed action</u> 'We shouted suddenly.'
(3) <i>Maga ayt-a sal!</i> <u>sudden or quick completed action</u> 'Tell me quickly!'	(7) <i>Uyku-m kel-ip ket-ti.</i> <u>quick or sudden completed action</u> 'I got sleepy.'
(4) <i>Mas bol-o tüs-tü-m.</i> <u>sudden change or action</u> 'I suddenly became drunk.'	

2.3. 問題提起

(i) 先行研究で述べられている интенсивность действия (quick)、неожиданность моментальность действия (sudden or quick completed action)、мгновенность (quick action)、неожиданность действия (sudden change)

³ Kundaybergenov (1987: 229) は、補助動詞 *al-*「取る」も取り上げており、неожиданно для субъекта или автора речи「動作主体による突然性 (迷惑)」を表すとしているが、本発表の考察対象から外す。

⁴ 例文の下線、波線は発表者によるものである。

とは、補助動詞ごとに具体的にどのように異なるのだろうか。

(ii) 主動詞が-A/y 副動詞形の場合と-I(p) 副動詞形の場合とでは、「素早さ・突然性」において、違いがあるのだろうか。

この2点を具体的な事例の調査・分析によって明らかにする。

3. 調査方法⁵

本発表におけるデータのうち出典を明示していないものは発表者自身による聞き取り調査（2021～2022）また新聞記事（Kırgız Tuusu2020、Ėrkin Too2020）を元に発表者が作成したコーパスデータにより得られたものである。また補助的にインターネット検索（2021.10.01～2022.03.31）により調査の不足を補うこともある。

本発表の考察前にいくつかの注意点

まず、本発表では、キルギス語例文の日本語訳の際、日本語の「～てしまう、～ておく」という表現を使用するのを意識的に避けている。それは、キルギス語の本来の意味が分からなくなると考えたからである。

次に、本発表で取り扱うキルギス語の例文の多くは、ある行為や現象の生じ方への素早さ・突発的に行なったことが含まれている。日本語に訳す時、特に次の用語を意識して使い分けている。

素早く / すぐに：ある状況や行動に対して反応するまでの時間が非常に短い様子でほとんど同時という点にポイントがあり、意図的な行為である。

突然：予想しない事態が何の前触れもなく起こることを意味する。つまり、自分の意志ではコントロールできず、非意図的なことを表す。

4. 考察

本発表では各補助動詞の違いを解明するにあたり、(1) 主動詞にはどんな動詞類（自動詞か他動詞か）がくるのか、(2) 動作主が自分の意志でコントロールができるかどうか、(3) 文中での他の文法的な要素はあるか否か、という文法的な性質に注目して、補助動詞が-A/y と-I(p) の副動詞形に続く場合に分けて、考察する。

4.1. -A/y 副動詞形に後続して用いられる場合

ここでは先行の主動詞が-A/y 副動詞形で現れる補助動詞 *koy-*、*kal-*、*sal-*、*tüš-* について考える。これらの本動詞としての意味は、それぞれ「置く」、「残る」、「入れる」、「下りる」のように物事がある場所に到達するという点で共通している。以下、それぞれについて詳細にみていく。

4.1.1. -A/y 副動詞形 + *koy-* 「置く」

koy- の本動詞としての語彙的な意味は「置く」であり、意図的な動作を表す（例: *baštiktı jerge koy-* 「かばんを地面に置く」）。

まず、*koy-* は、-A/y に後続して現れる場合、主動詞は基本的に**意志動詞に限る**ことが調査の結果から明らかになった。例えば、次のような動詞である。

他: <i>jap-</i> 「閉める」、 <i>tap-</i> 「見つける」、 <i>ber-</i> 「与える」、 <i>koy-</i> 「置く」、 <i>karma-</i> 「つかむ」、等。 自: <i>tur-</i> 「立つ（起きる）」、 <i>otur-</i> 「座る」、 <i>jat-</i> 「横たわる」、 <i>čik-</i> 「出る」、 <i>kir-</i> 「入る」、等。

⁵ 本発表で引用するすべての例文の翻訳、ラテン文字転写、例文番号、グロス、文字飾り、図表は、特にことわりのない限り発表者によるものである。補助動詞のグロスは AUX (補助動詞) ではなく、あえて本来の語彙的な意味 *koy-* 「置く」、*kal-* 「残る」、*sal-* 「入れる」、*tüš-* 「下りる」、*jiber-/iy-* 「送る」、*ket-* 「去る」を用いて表記することにする。

koy- は、これらの主動詞に後続して現れる場合、動作が「素早く」短時間で起こる即座性を表す。ここでは、動作主の意志によって動作が行われ、自分の行動がコントロール可能であると考えられる。

(7) *iyik kuran-dī al-īp, kol-u-na ber-e koy-du.*

神聖な コーラン-ACC 取る-CVB 手-POSS.3-DAT 与える-CVB 置く-PST.3

「神聖なコーランをとって、彼の手に（素早く）渡した。」

koy- は、動詞命令形に依頼の意味を強める助詞 *-ēU* が付いたり、否定命令など、聞き手に対する働きかけを表す文などで用いられる例がみられる。

(8) *Me, suu al-īp kel-e koy=ēu!*

ほら 水 取る-CVB 来る-CVB 置く=PART

「ほら、水を（すぐに）取ってください！」

(9) *Baška biröö-nün telefon-u-n al-a koy-ba.*

他 一人-GEN 電話-POSS.3-ACC 取る-CVB 置く-NEG.IMP

「他人の電話を（すぐに）取らないで。」

4.1.2. *-A/-y* 副動詞形 + *kal-* 「残る」

kal- の本動詞としての語彙的な意味は「残る」であり、意図的な動作を表す（例: *üygö kal-* 「家に残る」）。

kal- の主動詞は意志動詞ではあるが、*koy-* とは異なり、自動詞の方が圧倒的に多く使われる。

他: *ač-* 「開ける」、*bas-* 「押す」、*jas-* 「作る」、*jaz-* 「書く」、*ayt-* 「言う」、*oku-* 「読む」、等。

自: *tur-* 「立つ」、*otur-* 「座る」、*tokto-* 「止まる」、*čik-* 「出る」、*kir-* 「入る」、*kel-* 「来る」、等。

kal- は、前触れもなく「素早く」動作が行われることを表す。動作主の意志的な動作が素早く行われ、それが話し手にとっては、予想外のことであることが示される。

(10) «*Oşol...*» *de-p aptig-īp ordu-nan tur-a kal-dī.*

それ 言う-CVB 口ごもる-CVB 席:POSS.3-ABL 立つ-CVB 残る-PST.3

「「それだ」と口ごもって（素早く）立ちあがった。」

kal- も、依頼の意味を強める助詞 *-ēU* が付いたり否定命令など、聞き手に対するモーダルな働きかけを表す文でも用いられる。

(11) *Ismail! Tamak jasa-y kal=ēi!*

PSN 食事 作る-CVB 残る=PART

「イスマイル！食事を（すぐに）作ってください。」

(12) *sen da kiykir-īp tur-a kal-ba.*

君 も 叫ぶ-CVB 立つ-CVB 置く-NEG.IMP

「君も叫んで（すぐに）立ち上がらないで。」

kal- の主動詞が、*koy-* と *sal-* の主動詞と異なるのは、次のような「事態の変化を表す」自動詞がよくみられることである。とくに、ある事柄が何らかの基準によって「若干弱まる傾向(変化)」があることを表すことが多く、「素早さ・突然性」を表すかどうかは議論の余地がある。また、このような場合、文中に *bir pas* 「少し」、*birtke* 「ちょっと」、*bir az* 「少しの間」と共起して現れることが多い。

自: *tinčtan-* 「静まる」、*unutula-* 「忘れられる」、*mukaktan-* 「口ごもる」、*jumšar-* 「和らぐ」、等。

(13) *jaag-ī-n taya-gan boydon köz-ü-n süz-īp, bir az tinčtan-a kal-dī.*

顎-POSS.3-ACC 支える-PTCP まま 目-POSS.3-ACC 細める-CVB 少し 静かになる-CVB 残る-PST.3

「顎に手を置いて目を薄め、少し静かになった。」

4.1.3. -A/-y 副動詞形 + sal-「入れる」

sal- の本動詞としての語彙的な意味は「入れる（しまう）」であり、意図的な動作を表す（例: *kapka ookattii sal-*「袋に品物を入れる」）。

まず、sal- の主動詞は、*koy-* と *kal-* と同様に意志動詞に限る。ただし、*koy-*、*kal-* の場合と異なり、sal- の場合に注目すべきなのは他動詞しか共起できない点である。例えば、次のような動詞である。

他: *ač-*「開ける」、*jaz-*「書く」、*jap-*「閉める」、*ber-*「与える」、*ayt-*「言う」、*oku-*「読む」、等。

これらの動詞に後続して現れる場合、sal- は、動作が「素早く」行われることを表す。それは動作主の意志によって行われる動作で、動作主がコントロール可能な動作であると考えられる。

- (14) *Kuučike kazan-din kapkag-ï-n ač-a sal-a-t.*
 PSN 鍋-GEN 蓋-POSS.3-ACC 開ける-CVB 入れる-PRES-3
 「クウチケは鍋の蓋を（素早く）開ける。」

sal- は、上述の *koy-* と *kal-* と同様に、依頼の意味を強める助詞 *-čU* が後続したり否定命令など、聞き手に対するモーダルな働きかけを表す文で現れうる。

- (15) *beri kara=čï, munu oku-y sal=čï.* (16) *Šaša-buša jooop ber-e sal-ba.*
 こっち 見る=PART これ:ACC 読む-CVB 入れる=PART バタバタと 返事をする-CVB 入れる-NEG.IMP
 「こっちを見て、これを（すぐに）読んでください。」 「急いで（すぐに）返事をしないで。」

4.1.4. -A/-y 副動詞形 + tüš-「下りる」

tüš- の本動詞としての語彙的な意味は「下りる」という意図的な動作を表す（例: *attan tüš-*「馬から下りる」）。

tüš- は、主体の心理・生理現象を表す動詞類（いずれも自動詞）に後続して、「突然性」の意味を表す。例えば、次のような主動詞と組み合わせられて用いられる。

自: *jini kel-*「怒る」、*köyül açil-*「気分が晴れる」、*kubar-*「（顔）が青ざめる」、*šiši-*「むくむ」、等。

これらの主動詞は、驚き恐れるなどのように動作主がコントロールできない出来事を表す。これらに *tüš-* が後続した場合、ある事柄が予想外に起き、突然、ある心理・生理状態になることを表す。また、このような *tüš-* の場合、前述の3つ補助動詞の場合にみられたような命令文などは現れず、*tüš-* は過去形でしか出てこない。

- (17) *Čerik-tin jüz-ü-nö kan tēč-p, kīpkizil bol-o tüš-tü.*
 PSN-GEN 顔-POSS.3-DAT 血 蹴る-CVB 真っ赤な なる-CVB 下りる-PST.3
 「チェリクの顔に血が走って、（突然）真っ赤になった。」

なお、*tüš-* は、前述の *koy-*、*sal-*、*kal-* と同様に意志動詞が主動詞になることもある。しかし、前述の3つの補助動詞とは、文法的な意味が異なり、「もう少しの持続」という意味を表す（Yuldašev (1965: 80-81)）⁶。

以上、-A/-y 副動詞形に続く補助動詞 *koy-*、*kal-*、*sal-*、*tüš-* について観察した結果、*koy-*、*kal-*、*sal-* はいず

⁶ *tüš-* は *tinči-*「静まる」、*jeñilden-*「弱まる」、*čarča-*「疲れる」、などのような非意志動詞（自動詞）に後続して現れる場合、単なる「持続」ではなく、「ある事柄の動きの程度・スピードが弱まること（強いことから弱くなる）」を表す。別稿において改めて議論する。（例）*Abil biy jeñilden-e tüš-tü.*「アビル氏は気持ち（少し）軽くなった。」

れも動作の「素早さ」を表すが主動詞の性質が互いに異なること、一方、*tüš-* は主動詞が「主体の心理・生理現象を表す」動詞類の場合に「突然性」の意味が現れることが確認できた。また、*koy-* は他動詞・自動詞どちらの主動詞とも結びつくのに対して、*kal-* は自動詞に後続することが多く、*sal-* は他動詞としか共起できないことが分かった。各補助動詞が互いに置き換えできるかどうかは、今後の課題として残る。

4.2. *-I(p)* 副動詞形に後続して用いられる場合

次に先行の主動詞が *-I(p)* 副動詞形で現れる補助動詞 *jiber-/iy-*、*ket-* について考える。これらの本動詞としての意味は、「送る」、「去る」のように人や物事がある場所に向かう（方向性を表す）という点で共通している。以下、それぞれについて詳細にみていく。

4.2.1. *-I(p)* 副動詞形 + *jiber-/iy-* 「送る」

jiber- の本動詞としての語彙的な意味は「送る」であり、意図的な動作を表す（例: *kat jiber-* 「手紙を送る」）。

jiber-/iy- は、動作が「素早く」短時間で起こる即座性を表す場合がある。

(18) *botko-go koš-up sugun-up jiber-di.*

お粥-DAT 加える-CVB 飲み込む-CVB 送る-PST.3

「(彼は) お粥に混ぜて、(素早く) 飲み込んだ。」

jiber- 「送る」については、Ohsaki&Akmatalieva (2022) が詳細な調査を行い、その結果、*jiber-* の用例の 95% (193 例中 183 例) が意志動詞であることが報告されている。さらに、*jiber-* には意志性を弱める働きがあるので(「思わず」) 意志動詞と結びつきやすいものの、*jiber-* の主動詞は意志動詞だけではなく、非意志動詞が現れることが全体の 5% にみられ、この場合は、「予想外、突然」という意味を表すという。

また今回の調査によると、*jiber-* 「送る」の場合も、依頼の意味を強める助詞 *-čU* が接続したり否定命令など、聞き手に対するモーダルな働きかけを表す文で現れることが確認できた。

(19) *öz-ün-dü tömön tašta-p jiber=čU.* (20) *Ėski komp'yuter-di irgüt-ip jiber=be.*

自分-2SG.POSS-ACC 下 捨てる-CVB 送る=PART

古い コンピューター-ACC 捨てる-CVB 送る-NEG.IMP

「自分を下に(すぐに) 捨てなさい。」

「古いコンピューターを(すぐに) 捨てないで。」

4.2.2. *-I(p)* 副動詞形 + *ket-* 「去る」

ket- の本動詞としての語彙的な意味は「去る」であり、意図的な動作を表す（例: *iške ket-* 「仕事に行く」）。

まず、*ket-* の主動詞をみると、ほとんどが「主体の心理・生理現象を表す」動詞類の場合であり、*ket-* は「突然性」の意味を表す⁷。例えば、次のような動詞である。

白: *süyün-* 「喜ぶ」、*kork-* 「怖がる」、*ukta-* 「寝る」、*oygon-* 「目が覚める」、*terde-* 「汗をかく」、等。

これらが主動詞の場合、*ket-* は主体の意志でコントロールできない心理・生理現象が突然、予想外に生じることを表す。

(21) *Čoču-p oygón-up ket-se-m, ěčteme da jok.*

びっくりする-CVB 目覚める-CVB 去る-COND-1SG 何 も 無い

「びっくりして(突然) 目が覚めたら、何もなかった。」

⁷ *ket-* は、*-I(p)* に後続して現れる場合、動作の「始動」や「完了」を表す場合はあるが、本発表の考察対象ではない。

なお、*ket-* の場合、否定命令形などは見られず、現れる用例のいずれも過去形で現れる点で、4.1.4 でみた *tüš-* 「下りる」と共通している。

5. まとめ

本発表での問題提起 (i) にあげた「それぞれの補助動詞で「素早さ・突然性」がどのように異なるのか」という点については、次のような用いられ方の違いに現れている。まず、動作の「素早さ」を表すのは、*-A/-y* 副動詞形に続く補助動詞 *koy-* 「置く」、*sal-* 「入れる」、*kal-* 「残る」と、*-I(p)* 副動詞形に続く補助動詞 *jiber-/iy-* 「送る」であり、いずれの場合も、主動詞に意志動詞がくるという共通点がある。また、形式的な特徴としては、命令形（依頼の意味を含む）・否定命令形にも現れ、現在形・過去形の両方で現れうる。

一方の「突然性」を表すのは、*-A/-y* 副動詞形に続く *tüš-* 「下りる」と、*-(I)p* 副動詞形に続く *ket-* 「去る」である⁸。これらは、副動詞形は異なっているものの、いずれも「主体の心理・生理現象を表す」自動詞の場合にのみ現れる点で共通している。また、形式的な特徴としては、「素早さ」を表す補助動詞に見られたような命令形（依頼の意味を含む）・否定命令形は現れず、そしていずれも過去形でしか現れないという特徴がみられた。

このことから、問題提起 (ii) 「主動詞が*-A/-y* 副動詞形の場合と*-I(p)* 副動詞形の場合とで「素早さ・突然性」において違いがあるのか」という点については、主動詞の形式と直接には関係しないという点が確認された。

最後に、キルギス語の「素早さ・突然性」を表す補助動詞の種類と特徴を次のようにまとめておく。（表内のグレー網掛けが動作の「素早さ」を指す。）

<i>CVB</i>	補助動詞	主体	主動詞の自他	意志性の有無	依頼助詞	否定命令形	テンス	主な文法的意味
<i>-A/-y</i>	<i>koy-</i> 「置く」	人	自・他	有	可能	可能	現・過	素早さ
	<i>kal-</i> 「残る」	人	自（・他）	有	可能	可能	現・過	素早さ
	<i>sal-</i> 「入れる」	人	他	有	可能	可能	現・過	素早さ
	<i>tüš-</i> 「下りる」	人・物事	自: 心理・生理現象動詞	無	不可	不可	過去形	突然性
<i>-I(p)</i>	<i>jiber-/iy-</i> 「送る」	人	他	有	可能	可能	現・過	素早さ
	<i>ket-</i> 「去る」	人・物事	自: 心理・生理現象動詞	無	不可	不可	過去形	突然性

参考文献

- Kudaybergenov, Sarıbay. (1987) *Glagol*, In: Zaxarova, O. V.(eds.), *Grammatika kirgizskogo literaturnogo yazıka I: Fonetika i morfologiya*. 207-302. Frunze: Ilim.
- Ohsaki, Noriko and Akmatalieva, Jakshylyk. (2022) Volitionality and Kyrgyz auxiliary verbs *kör-* and *jiber-*. In Sato, Kumiko and Kogura, Norikazu (eds.) *Aspects of Turkic Languages: Phonology, Morphosyntax and Semantics*. 65-74. CSEL 22.
- Ohsaki, Noriko and Ebata, Fuyuki. (2021) Verb-verb complexes in Central and Eastern Turkic languages. In: Taro Kageyama, Peter E. Hook, and Prashant Pardeshi (eds.) *Verb-Verb Complexes in Asian Languages*. 430-454. Oxford University Press.
- Yuldaşev, Ahnef Ahmetovič. (1965) *Analitičeskiye formi glagola v tyurkskih yazıkah*. Moscow.

⁸ *jiber-/iy-* 「送る」についての詳細は Ohsaki & Akmatalieva (2022) を参照。